

大津町DX推進計画

アクションプラン

(令和8年度 ～ 令和11年度)

大津町

計画の基本方針

デジタルで今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち～デジタルIMOバージョンOZU～

目 次(施策一覧)

区分／中分類	施 策 名	主管課	ページ／新規・継続
地域DX： デジタルを身近に感じる	窓口業務の見直しと「書かない」窓口の推進	総合政策課	2／継続
	オンライン申請の拡充	総合政策課	2／新規
	郵送請求サービスのオンライン化	住民課	2／新規
	コンビニ交付のサービス拡充	住民課	3／新規
地域DX： デジタルで地域を元気に	地域活動でのICT活用	総務課	3／継続
	町民向けデジタルを活用した情報発信	総合政策課	3／新規
	情報発信の多重化／避難所運営の可視化	防災交通課	4／新規
	ICTを活用したスマート農業支援の推進	農政課	4／新規
	町内中小企業・事業者のDX推進支援	商業観光課	4／新規
行政DX： デジタルで業務を効率化	選挙事務の効率化と受付手続の見直し	総務課	5／継続
	文書管理業務の見直しと電子化の推進	総務課	5／継続
	決裁事務の見直しと電子決裁の導入	総務課	5／継続
	情報システムの標準化・共通化	総合政策課	6／継続
	庁内ネットワークの無線化(LGWAN・インターネット系)	総合政策課	6／継続
	行政内部のデジタルによる情報発信	総合政策課	6／継続
	職員のデジタル活用力向上	総合政策課	7／継続
	全庁BPR(業務棚卸し)とDX推進体制の整備	総合政策課	7／新規
	生成AIの導入	総合政策課	7／継続
	データ利活用・EBPM推進	総合政策課	8／継続
	公金収納のeL-QR拡充・自動収納機の導入	会計課	8／継続
	収納証拠書電子化	会計課	8／新規

地域DX デジタルを身近に感じる

施策名	概 要			
窓口業務の見直しと「書かない」窓口の推進	窓口業務について、申請、確認、入力、交付までの流れを整理し、住民の記載負担や待ち時間、職員の処理負担の軽減につながる見直しを進める。令和8年度は、対象手続、帳票、業務フロー、庁内連携等の整理を行い、年度末に「書かない」窓口システムを導入する。令和9年度以降は、導入後の運用状況や課題を踏まえ、対象手続の拡大や運用改善を進める。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	業務整理・システム導入	運用検証・改善	対象拡大	定着・横展開検討

施策名	概 要			
オンライン申請の拡充	住民の来庁負担の軽減と手続の利便性向上を図るため、主要な行政手続について、オンラインで申請できる手続を順次拡充する。令和8年度は、対象手続の整理と優先順位付けを行い、オンライン化を進める手続を拡大する。令和9年度以降は、利用状況や課題を踏まえながら、対象手続の追加、申請しやすい環境づくり、窓口支援を含めた運用改善を進める。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	窓口DXシステム導入 対象手続整理・手続拡充	利用状況検証・利用普及	運用改善・対象拡大	定着・見直し

施策名	概 要			
郵送請求サービスのオンライン化	住民票や戸籍などの証明書の郵送請求に関し、申請フォームや専用プラットフォームを活用することで、オンラインでも申請や支払いができ、各種証明書が簡単に取得できるようになる。			
主管課	R8	R9	R10	R11
住民課	法人請求オンラインサービスのトライアル・導入検討 個人請求のオンライン化の事例収集・実施検討	オンライン化実施・施行		

施策名	概 要			
コンビニ交付のサービス拡充	住民票や印鑑証明、所得証明だけでなく、戸籍の証明書をコンビニで交付できるようにすることで、行政手続きのオンライン化や「行かない役場」の実現に向けた取り組みを促進させる。			
主管課	R8	R9	R10	R11
住民課	構築・試験	その他拡充できないかの検討・情報収集		
	戸籍証明書交付開始			

地域DX デジタルで地域を元気に

施策名	概 要			
地域活動でのICT活用	地域活動における申請、参加記録等について、負担軽減や利便性向上につながるICT活用を進める。令和8年度は、水水の電子申請の運用を進めるとともに、熊本連携中枢都市圏で「くまもとアプリ」の実証実験に対応し、地域活動分野での活用可能性を検証する。令和9年度は、その結果や課題を踏まえて運用を整理し、令和10年度以降、段階的な活用拡大を図る。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総務課地域づくり推進係	水水ポイント事業における電子申請の運用			
	中枢都市圏での実証実験		中枢都市圏での共同利用(予定)	

施策名	概 要			
町民向けデジタルを活用した情報発信	町民に必要な情報が、分かりやすく、適切な手段で届くよう、ホームページやSNS等を活用した情報発信の充実を進める。令和8年度は、町公式LINEのリッチメニュー拡充を重点的に進め、必要な情報にたどり着きやすい導線づくりを図る。令和9年度以降は、LINEを含む各媒体の利用状況や町民ニーズを踏まえながら、発信方法の改善等を進め、継続的な情報発信の質向上につなげる。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	LINEリッチメニュー拡充・発信導線改善		利用状況検証・発信改善	
	媒体連携強化・発信拡大		定着・見直し	

施策名	概 要			
情報発信の多重化／避難所運営の可視化	防災行政無線・緊急速報メール・LINE・SNS・ホームページ・コミュニティFM等の複数チャネルを組み合わせた多重的な情報発信体制を整備し、住民への確実な避難情報の伝達を図る。あわせて平時から定期的な訓練・運用確認を実施し、災害時に確実に機能する体制を維持する。			
主管課	R8	R9	R10	R11
防災交通課	運用検討			システム整備

施策名	概 要			
ICTを活用したスマート農業支援の推進	ドローンによる農薬散布・圃場監視、土壌センサー・気象センサーを活用した生育管理、農業ICTシステムによる作業記録・収量管理等の導入を支援する。農業データの蓄積・分析を通じた生産性向上と、若い担い手が参入しやすい魅力ある農業環境の整備を推進する。			
主管課	R8	R9	R10	R11
農政課	スマート農業支援の推進			

施策名	概 要			
町内中小企業・事業者のDX推進支援	DX入門セミナー・個別相談会・ハンズオン研修等を定期的に行い、ITツール導入・EC活用・キャッシュレス対応・業務効率化等に関する実践的な支援を行う。あわせて国・県の補助金・助成制度に関する情報提供を積極的に行い、事業者のDX投資を後押しする。			
主管課	R8	R9	R10	R11
商業観光課	事業者ヒアリング	庁内検討	セミナー等の実施	

行政DX デジタルで業務を効率化

施策名	概 要			
選挙事務の効率化と受付手続の見直し	選挙事務について、受付、宣誓書確認、名簿照合等の流れを整理し、有権者の待ち時間短縮と事務従事者の負担軽減につながる見直しを進める。令和8年度は現行事務の課題整理と先進事例、対応可能な仕組みの確認を行い、令和9年度に試行の可否を判断する。令和10年度以降は、国の動向、システム対応、費用対効果等を踏まえ、必要に応じて次のフェーズを検討する。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総務課	事務フローの整理、他自治体事例、ベンダー対応可能性、法制度上の条件確認、効果が見込める改善候補の整理	実施可能な改善策の試行可否判断、試行する場合の対象範囲、費用、体制整理、R10以降の方針決定	必要に応じて試行・導入・運用見直し制度や技術動向を踏まえた再判断	

施策名	概 要			
文書管理業務の見直しと電子化の推進	文書の收受、起案、保存、引継ぎ、廃棄までの一連の流れについて現状を整理し、紙を前提とした運用の見直しを進める。令和8年度は対象文書や運用ルールの整理を行い、令和9年度に電子化の対象範囲や運用方法を検証する。その結果を踏まえ、令和10年度以降、文書管理の電子化と定着を段階的に進める。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総務課	現状整理・対象文書整理・運用ルール整理	対象範囲検証・試行・例規整備	段階的实施	定着・見直し

施策名	概 要			
決裁事務の見直しと電子決裁の導入	休暇申請等で既に運用している電子申請の実績も踏まえ、文書・起案等の決裁事務について、電子化に向けた見直しを進める。令和8年度から令和9年度にかけて、決裁区分、専決・代決、起案単位、対象文書等を整理し、必要な運用見直しと例規整備を進める。その結果を踏まえ、令和10年度以降、電子決裁システムの導入と定着を段階的に進める。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総務課	現状整理・論点整理(起案・回議・決裁フローの整理、決裁区分、専決・代決の現状整理、対象文書の洗い出し)	運用見直し・例規整備・導入方針整理(決裁区分、専決・代決、起案単位の見直し方針整理、例規整備の整理対応完了、システム導入方針決定)	システム導入	定着・対象拡大検討

施策名	概 要			
情報システムの標準化・共通化	国が進める自治体情報システムの標準化・共通化について、国の標準仕様や移行スケジュールに基づき、標準準拠システムへの移行を進める。令和8年度は、対象業務の標準化・共通化を実施し、令和9年度は一部業務である国民健康保険業務の移行を進める。あわせて、関係課との調整や必要な業務整理を行い、移行後の安定運用と業務改善につなげる。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	標準化・共通化実施	国保業務移行・運用整理	運用安定化・業務改善	定着・見直し

施策名	概 要			
庁内ネットワークの無線化(LGWAN・インターネット系)	庁内ネットワークについて、業務効率や端末利用の柔軟性向上を見据え、将来的な無線化に向けた条件整理を進める。現行機器は引き続き使用可能な状況にあることから、直ちに全面移行を行うのではなく、令和8年度以降は現行環境の課題整理や更新時期の見極めを行う。そのうえで、業務効率性や運用面での効果が見込まれる場合には、令和11年度での移行も視野に入れながら方向性を整理する。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	現状整理・課題整理	更新時期・整備条件整理	移行可否判断・方向性整理	必要に応じて移行対応

施策名	概 要			
行政内部のデジタルによる情報発信	グループウェア・ビジネスチャット・庁内ポータル等を活用し、通達・議事録・マニュアル・各種様式等の情報をデジタルで一元管理・共有できる環境を整備する。情報発信の担当者・更新ルールを明確化し、職員が必要な情報に迅速にアクセスできる庁内情報基盤の充実を図る。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	現状整理・共有方法整理	運用改善・活用状況確認	共有方法の強化・活用拡大	定着・見直し

施策名	概 要			
職員のデジタル活用 力向上	職員がデジタルを活用して業務改善や住民サービス向上につなげられるよう、職層や役割に応じた人材育成を進める。令和8年度は、管理職を含めた生成AIの普及を重点的に進め、基礎的な理解と業務での活用を広げる。令和9年度以降は、活用状況や課題を踏まえながら、実務に結びつく人材育成と活用の定着を図る。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	研修実施・生成AI普及(生成AI研修の実施、庁内での活用事例の収集)	研修実施・実践活用・検証	活用拡大・推進役育成	定着・見直し

施策名	概 要			
全庁BPR(業務棚卸し)とDX推進体制の整備	書かない窓口導入にあたり、令和8年度に一部の業務について棚卸しとフロー図作成を行い、住民負担や職員負担の課題を整理する。令和9年度に改善後の検証や試行を行い、その結果を踏まえて令和10年度以降、運用改善や必要な手法の導入を段階的に進める。あわせて、DX推進体制を整理し、継続的に業務改善を進める仕組みを整える。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	一部業務の棚卸し、フロー図作成、課題整理	整理結果の検証、効果確認、方向性整理	次フェーズ移行(運用改善、手続見直し、必要に応じたデジタル活用の検討・実施)庁内横展開の検討	

施策名	概 要			
生成AIの導入	令和8年度に生成AIを導入し、文書作成補助、要約、情報整理等の業務支援に活用する。導入後は、庁内での利用拡大を進めながら、活用場面や効果、運用上の課題を整理する。令和9年度に実績や課題の検証を行い、その結果を踏まえて令和10年度以降、必要に応じて次のフェーズの仕組みや運用方法を検討する。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	生成AI導入・利用開始・研修等の実施	利用拡大・効果検証	必要に応じたシステムの導入・運用見直し	

施策名	概 要			
データ活用・EBPM 推進	庁内にある各種データについて、現状や活用目的を整理し、政策判断や事業見直しに活用できる形を整える。令和8年度は必要なデータの整理や活用場面の明確化を進め、令和9年度に活用事例の検証を行う。その結果を踏まえ、令和10年度以降、対象分野の拡大や手法の充実を図る。なお、特定のシステムやツールの導入は前提としない。			
主管課	R8	R9	R10	R11
総合政策課	現状整理・活用場面整理	試行・検証	活用拡大、定着・見直し	

施策名	概 要			
公金収納のeL-QR拡 充・自動収納機の導入	eL-QRの拡充により、来庁せずに納付できる環境整備を進めるとともに、各種税・料金等の納付ができる自動収納機を導入し、住民サービス向上、窓口混雑の緩和及び収納業務の効率化を図る。			
主管課	R8	R9	R10	R11
会計課	他自治体事例調査・庁舎1階窓口改善との協議			
		eL-QR対応開始・口座振替利用促進	機器などの確認・検討	

施策名	概 要			
収納証拠書電子化	金融機関から日々受領している紙媒体の収納証拠書を電子化し、電子データの受領により、書類の保管・管理業務の効率化、ペーパーレス化による職員負担の軽減を目指す。 また、収納証拠書の検索性が大幅に向上し、必要な情報への迅速なアクセスが可能となる。収納証拠書の保管・整理にかかる物理的負担や人的コストの削減にもつながり、限られたリソースの中で持続可能な業務遂行とするためには有効な施策である。			
主管課	R8	R9	R10	R11
会計課	契約事務及び電子化運用	電子化運用		